



明治ぼうさい

発行人：明治地区自主防災協議会 会長 磯崎 三郎 （事務局）明治市民センター 地域づくり担当 電話0466-34-3444

明治地区総合防災訓練について

令和7年度明治地区総合防災訓練が、令和8年3月8日(日)羽鳥小学校校庭にて実施されました。広報訓練では第11分団による広報車での巡回、29自治町内会は9時20分羽鳥小学校校庭避難場所着を目標とし避難訓練を実施、9時30分開会式が開始され、当日450人の参加者人数が発表されました。三觜自主防災協議会会長の挨拶があり、訓練開始となりました。テント設営訓練、建物家屋救出訓練、濃煙体験訓練、震度体験訓練、171体験訓練、炊飯袋体験訓練、応急救急訓練が同時刻に開始され、それぞれの担当者が手際よく参加者の誘導を行っていました。テント設営訓練では、テント組立てに慣れていないこともあり多少時間を要する場面がみられました。炊飯袋体験訓練では火起こしからかまどの湯沸かしまでは順調でしたが、炊飯袋をおかまに入れてはみたもののお湯に沈んでくれない場面があり、指導者からは「炊飯袋の空気をしっかりと抜いて沈めないと沈んでくれず炊飯袋の機能が働かない」との指導を受け、その後は皆さん上手にお米を炊き上げることができました。10時から、大声発生訓練、ロープワーク、浸水歩行訓練、消火訓練、土のう積み訓練、トイレ組立て訓練が同時進行されました。大声発生訓練では老若男女美声を発揮され見事でした。浸水歩行訓練は身をもって水の力のすごさを感じられた訓練でした。トイレ組立ては、有事の場面ではどれだけの数を設置できるのか、設置場所の選定等が大きな問題だと感じます。11時から第11分団によります見事な放水訓練が行われ、閉会を迎えました。今訓練で、消防署によるはしご車救出訓練が事情により実施されなかったのが残念ではありましたが、普段できない訓練、体験を参加者全員が身をもって実施され、防災意識を高める有意義な場面であったことはいうまでもありません。

訓練中、鈴木藤沢市長より挨拶をいただき、明治地区自主防災協議会は防災意識を高め一致協力、安全安心な明治地区になるよう今後も防災訓練を継続します。関係者、関係機関、団体、企業の皆様のご協力に感謝申し上げます。



会長挨拶



炊飯袋体験

明治地区内 自治町内会防災訓練日程（予定）

各自治町内会でも防災訓練を実施しています。日頃の訓練が大切ですので、ぜひご参加ください。明治地区自主防災協議会では、訓練に使用する備品の貸出などを行っております。

自治・町内会名	日程
羽鳥南町会	5月24日
共和自治会	6月6日
辻堂新町町内会、辻堂駅前ハイツ自治会	6月14日
羽鳥本村町内会	6月21日
打越会	9月下旬の日曜日
二ツ家町内会、折戸町内会、四ッ谷町内会、太洋町内会	10月10日
城町内会	11月15日
柏木町内会、汲田町内会、湘南台町内会、羽鳥長山町内会、羽鳥松和会、羽鳥高山町内会、羽鳥丸山町内会、羽鳥向町内会、羽鳥山町内会、リノア湘南辻堂自治会、辻堂駅前ハイツ9号棟自治会、サンクタス湘南藤沢アネーロの丘自治会、クリオ藤沢伍番館自治会、パークハイツ湘南辻堂自治会、ファミリー藤沢城南自治会、ステイツ湘南藤沢自治会、クリオレジダンス湘南辻堂自治会、プラウドシーズン藤沢湘南テラス自治会	未定

※訓練日程については予定となります。内容等詳細はお住いの自治町内会にご確認ください。

令和 8 年度明治地区自主防災協議会事業計画

実施日	事業名	場所
7月 9日(木)	羽鳥中学校避難所運営委員会	地区内小中学校
7月10日(金)	羽鳥小学校避難所運営委員会	
7月13日(月)	明治小学校避難所運営委員会	
7月14日(火)	明治中学校避難所運営委員会	
7月26日(日)	防災リーダー講習会	明治市民センター
8月30日(日)	全体会	明治市民センター
10月3日(土)	防災講演会	明治市民センター
10月～12月	視察研修会	未定
11月～12月予定	明治小学校・明治中学校避難所訓練	明治小学校・明治中学校
11月～12月予定	羽鳥小学校・羽鳥中学校避難所訓練	羽鳥小学校・羽鳥中学校
1月24日(日)	藤沢市地域防災活動推進大会	F プレイス ホール
1月31日(日)	全体会	明治市民センター
3月 7日(日)	総合防災訓練	羽鳥小学校
3月14日(日)	(総合防災訓練予備日)	羽鳥小学校

年間事業

- 1 明治地区自治町内会防災訓練等への支援に関すること
- 2 防災資機材の整備に関すること
- 3 明治地区自主防災協議会会報の発行に関すること
- 4 地域防災体制の構築に関すること
- 5 避難行動要支援者支援体制整備に関すること
- 6 先進的防災活動事例等の情報収集に関すること
- 7 災害緊急活動隊の活動等に関すること
- 8 明治地区まちづくり事業に関すること

令和 8 年度明治地区自主防災協議会予算

一般会計

(収入の部)

科目	金額
会 費	268,135
協賛金	159,000
委託料収入	53,000
参加費	20,000
繰入金	743,128
雑収入	1,234
合 計	1,244,497

(支出の部)

科目	金額
事務費	50,000
会議費	30,000
事業費	393,000
広報費	110,000
積立金	50,000
交際費	5,000
予備費	606,497
合 計	1,244,497

災害対応備品購入等積立金会計

(単位：円)

(収入の部)

科目	金額
積立金	50,000
繰入金	650,911
雑収入	784
合 計	701,695

(支出の部)

科目	金額
事業費	0

※災害対応備品購入等積立金は災害発生時に必要となる物品を購入するために積立しているものです。

令和 8 年度 役員の紹介

役 員

No	役職	氏 名	自治・町内会名
1	会長	磯 崎 三 郎	四ッ谷町内会
2	副会長	小 河 愛由美	共和自治会
3		北 島 健 治	折戸町内会
4		松 本 俊 幸	城町内会
5		立 川 昭 夫	羽鳥南町会
6	会計	神 田 謙 一	二ツ家町内会
7	総務	長 崎 美奈子	打越会
8		榎 本 公 司	羽鳥丸山町内会
9	監事	吉 原 敏	辻堂新町町内会
10		大河内 弥三男	汲田町内会
11	顧問	三 觜 清 次	羽鳥本村町内会

藤沢市からのお知らせ

避難先の違いご存知ですか？

災害時に向かう場所には、津波から垂直避難する津波避難ビル、命を守るために逃げる指定緊急避難場所、そして避難生活を送る指定避難所の3つがあります。役割の違いを知っておくことで、状況に応じた正しい行動につながり、いざという時の迷いを減らせます

◆津波避難ビルは『津波から緊急的に一時避難する場所』



高台や浸水域外の避難場所までの避難に時間を要する地域において、緊急的に一時避難をする場所として活用する施設です。

◆指定緊急避難場所は『命を守るために逃げる場所』



災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所のことで、洪水・津波・地震・大規模火災等の災害の種別ごとに指定しています。

◆指定避難所は『避難生活を送る場所』



災害の危険を感じて避難してきた方々が、危険がなくなるまでの必要な期間滞在することや、被災状況によって自宅へ戻れなくなった方への一時的に滞在することを想定した施設です。

市内の避難先一覧や指定基準等はこちらで確認できます。



編集後記

今年に入ってから、大きな地震「M4」以上が日本各地で頻発。しかし、首都東京、神奈川エリアだけが地震の空白地帯になっている。そのことは、幸いなことであるが、同時に地震災害の備えに対する意識の低下を招いているのではと思います。そこで今回は、日頃の備えについてまとめてみました。まずは、「懐中電灯の電池チェック」「携帯ラジオの点検」や「非常食の賞味期限確認」など、できることから一つずつ始めてみませんか。この『明治ぼうさい』が、皆様のご家庭で防災について話し合うきっかけになれば幸いです。

明治地区自主防災協議会役員一同